

1480 | 文化支援研究

1 単位（通信授業 1 単位）

金子伸二教授

授業の概要と目標

来るべき生涯学習社会を目指し、造形の立場に立脚しつつ、文化と社会との関わりを理解し支援するための方法論の探究を行う。

授業では、文化の概念と文化環境の動向把握、今後の展開に向けた検討を行う。

課題の概要

○通信授業課題

今日の文化支援をめぐる議論を理解・評価する課題。

* 課題については学習指導書『文化支援研究 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

- ・文化の概念と近代以降の文化研究の系譜を把握する。
- ・今日の文化支援をめぐる議論を理解・評価する。
- ・データを通して文化施設や文化行動の現状と地域文化環境を把握する。

成績評価の方法

レポートによる。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4 年次

[履修条件] 文化支援コース 3 年次必修科目の単位をすべて修得していること（「学生ハンドブック」p.049 の特例を除く）。

[備 考] 芸術文化学科文化支援コース 4 年次必修科目。

教材等

学習指導書：『文化支援研究 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）